

住宅改修が必要な理由書（1）

<基本情報>

利 用 者	被 保 險 者 番 号		年齢 歳	生年月日	年 月 日	性別 □男 □女		現地確認日	年 月 日	作成日	年 月 日	
												業所名」「名前（自書以外は押印必要）」「現地確認日」「書類確認日」を記入する。
被 保 險 者 名 前	要介護認定 (該当に○)	要支援	要 介 護						(作成者が 介護支援 専門員で ないとき)	所属事業所		
		1・2	申請中 · 1 · 2 · 3 · 4 · 5							自署以外の場合は、名前の横に押印		
住 所											名 前	○ ○ ○ ○ ○ (印)
											連絡先	

利用者の身体状況	例えば、移動や立ち上がり、姿勢保持といった生活動作に関する身体状況を記述する。 屋内及び屋外での移動方法(自立歩行・つたい歩き・歩行器利用など)は必ず記述する。	福祉用具の利用状況と 住宅改修後の想定	
介 護 状 況	各種介護サービスや家族の状況、主な介護者を含む介護状況を記述する。	改修前	改修後
住宅改修により、 利用者等は日常生活 をどう変えたいか	住宅改修によって利用者・家族は、介護状況、ADL、社会参加など、日常生活をどう変えたいと思っているのか(特に何を希望しているのか)、また、その効果を記述する。 個々の工事内容など、改修方針・改修項目は2枚目へ記述する。	<ul style="list-style-type: none"> ●車椅子 ●特殊寝台 ●床ずれ防止用具 ●体位交換機 ●手すり ●スロー ●歩行器 ●歩行補助 ●認知症老 ●移動用リ ●腰掛便座 ●特殊尿器 ●入浴補助用具 ●簡易浴槽 ●その他 _____ 	
		改修前と改修後 想定される福祉 用具の利用状況 を確認する。	

住宅改修が必要な理由書（2）

<「総合的状況」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修方針④改修項目を具体的に記入してください。>

活動	①改善しようとしている生活動作	② ①の具体的な困難な状況（…なので困っている）を記入してください	③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針（…することで…が改善できる）を記入してください	④ 改修項目（改善箇所）
排泄	<input type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input type="checkbox"/> トイレ出入口の出入 （扉の開閉を含む） <input type="checkbox"/> 便器からの立ち座り（移動を含む） <input type="checkbox"/> 衣服の脱ぎ <input type="checkbox"/> 排泄時の立位 <input type="checkbox"/> 排泄時 <input type="checkbox"/> 後 <input type="checkbox"/> その他	<p>現状の改善を必要とする動作についてレ点チェックをする。 <u>今回改修対象でない項目にチェックする必要はない。</u></p> <p>生活動作で困っていること、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修案の検討の際は全ての行為についてチェックが必要だが、理由書では改善しようとする行為に限定した記述でよい。 生活のどの場面、どの動作が利用者・介助者にとって大変なのか、動作の流れに沿って一つずつ見極める。寝たきりならば「座位が保てるか」、歩行ができれば「段差を越えられるか」などについても記入する。 ①のレ点評価と②のコメントの両方を合わせて利用者の状況が伝わるようにする。 移動について各行為（排泄・入浴・外出）に共通する内容は、例えば「排泄」の欄のみ記入し、各行為の欄に重複して記入する必要はない。 	<input type="checkbox"/> 出来なかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他	<p>①②を記入し、現状の問題点をふまえた上で、改修目的の項目をチェックする。</p> <p>各行為の困難事項を改善するために、どのような改修を行うのか、その方針を記述する。</p> <p>改善方法は、「つかまる所を」「つまずかない工夫」「立ち上がりの支えを」などの表現でもよい。</p> <p>一つの改修項目が複数の目的のために行われる場合はまとめて記述してもよい。</p> <p>具体的手段について、当事者はもちろん、施工者や専門家と一緒に考えることが望ましい。</p>
入浴	<input type="checkbox"/> 浴衣 <input type="checkbox"/> 衣服 <input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 洗濯 <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> その他			<ul style="list-style-type: none"> 改修箇所は、場所とその取り付け箇所を記述する。 「手すり」なら、「便器横壁面」、「立ち上がり用に縦手すり」など取付箇所等を記述する。 段差解消の場合、どういった方法で段差解消するのかを記述する（③の欄で記述してもよい）。 例：敷居撤去による段差解消 床を○センチかさ上げする すりつけ板（ミニスロープ）の設置など その他の項目には、付帯工事で行う工事を記載する。 例：段差解消に伴う扉の取替え （扉を取り替える必要はないが、段差解消により建具ごと取り替える必要がある場合など）
外出	<input type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input type="checkbox"/> 車いす等装具の着脱 <input type="checkbox"/> 履き物の着脱 <input type="checkbox"/> 出入口の出入（扉の開閉を含む） <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他（　　）			
その他の活動			<input type="checkbox"/> 出来なかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他	